



松木源太郎 議員



仁玉川の改修事業について

問 仁玉川下流部分の護岸の崩壊について、どのような対策を計画しているか。

答 下流部分で柵渠が崩壊し、特に損傷の激しい箇所は、管理者の大利根土地改良区が応急措置として大型土のうを設置する。

問 仁玉川下流部分の第2期工事見込みは。

答 早ければ令和6年度に下流部分の事業計画概要書を作成する予定。

問 早急に実施していただきたいが、市の見解は。

答 早急に第2期工事に至るよう、進めていきたい。

問 新川につながる最下流部の780mの土壁が崩れている。市が独自にでも早急に工事するべきではないか。

答 市民の安全・安心をこれからも守っていかねければならない。県や大利根土地改良区とも相談しながら、早急に改善する。

消防団の活動への援助の方法について

問 令和4年度で消防団員が市民から直接、活動費を頂くことはなくなった。しかし、区や自治会を通して消防団へ寄附がされている。この部分を市の費用で充填することはできないか。

答 消防団の活動費については、消防協力費等の名目で地域貢献活動に対しての協力費として頂いているものと考えてる。

学校給食の無償化についての計画並びに検討結果について

問 市長の答弁を聞いていると「国がやるまで待っているのではないか」と見えるがどうか。

答 国がやるべきというのは確かにそうだが、考えの基は「生まれた市町村によって違ってはいけない」ということ。段階を踏みつつ無償化に進んでいきたい。

デマンドタクシーの改善計画について

問 デマンドタクシーの改善計画を伺う。

答 令和6年度から要望の多かった区域外運行について、医療機関を乗降場所とする場合は可能とし、区域外運行用に車両を1台増車する予定。

分野別に！少人数で！専門的に！

市民のくらしに身近なコトを話し合う場、それが委員会です。

市議会と聞くと議員全員が集まる本会議をイメージする人が多いのでは!? でも市議会には少人数で専門的な議論をする委員会という場もあります

本会議



市長をはじめ各課長から、提案された議案の補足説明が行われます。説明した日からおよそ3日後に開かれる本会議では、議員から議案に対する質疑が行われます。

委員会



市の仕事はとても広い範囲にわたるので、議案を分野ごとに各委員会に委託します。委託後は各委員会で審査して、結論を出します。

本会議(最終日)



各委員会の委員長が審査結果を報告します。その報告をもとに話し合い議案に賛成か反対かを、多数決で決めます。